

「FVM大賞2025」受賞企業の紹介

大賞



株式会社アーバンエックステクノロジーズ 代表取締役 前田 紘弥 氏



東京大学工学系研究科社会基盤学専攻修了。
株式会社三菱総合研究所を経て、
株式会社アーバンエックステクノロジーズを設立。
情報処理推進機構（IPA）の「2020年度未踏アドバンスト事業」に採択。
Forbesの「30 Under 30 Asia 2021（アジアを代表する30歳未満の30人）」
に選出。博士（工学）。

しなやかな都市インフラ管理を支えるDXソリューション

しなやかな都市インフラ管理を支えるデジタル基盤として、
一般車両のドライブレコーダー(現在約8万台)、
車載スマートフォンカメラ、市民通報アプリなど
複数の情報ソースから収集されるデータを用いて、
主に道路空間の公共構造物の
状態把握・維持管理を行う。



優秀賞



Carbon Xtract株式会社 代表取締役社長 森山 哲雄 氏



2009年3月に筑波大学 大学院（工学／修士）を卒業後、
同年4月に双日株式会社へ入社。情報システムや金属資源事業
（鉱山会社の投資管理・金属原料トレード）で経験を積んだ後、
蓄電池関連の新規事業の組成、新素材系スタートアップへの投資などに
従事。2021年からは双日の脱炭素事業のマネージャーを担いながら
水素やカーボンリサイクル分野の案件組成を推進。2024年6月より現職。

大気中の二酸化炭素を回収するソリューションの展開

高いCO₂ガス透過性とCO₂ガス選択性を持つナノレベルに薄い分離膜を用いて、
大気からCO₂を回収する技術(m-DAC)の早期社会実装を目指している。
本技術は、他の回収技術と比べてシステム全体を小型化する事が
可能であると共に、電気のみで稼働させる事が可能。この特徴を活かして、
「何時でも、誰でも、何処でも」CO₂を回収し、多様な用途で利活用できる
ソリューションを開発・販売していく。



特別賞



カプセルジャパン株式会社

代表取締役 埴淵 修世 氏



2013年に福岡でカプセルジャパン株式会社を創業。

台湾市場を中心に、インフルエンサー・アニメ・VTuberを活用したデジタルマーケティング事業を展開。現在は、日本のIPコンテンツの海外展開を支援し、台北・上海・韓国ソウルなどに拠点を構える。訪日インバウンド施策にも取り組み、観光・エンタメ領域でのプロモーションを強化している。

IP（ブランド）海外進出支援事業

カプセルジャパン株式会社は、日本のIPコンテンツをグローバルに展開するマーケティング支援を提供。中華圏最大級のクリエイターネットワークを活用し、インフルエンサータイアップ、SNS運用、越境ECの運営、イベント企画 などを実施。さらに、訪日インバウンド施策にも注力し、企業や自治体のプロモーションを支援している。

